

EPAハノイ便り

2月号

平成28年2月29日

ARCベトナム校発行

日本語学習本格始動

日本語研修がスタートして、二月月がたちました。看護師候補者十四名、介護福祉士候補者百九十六名、合計二百十名の候補者は、基礎日本語をはじめ、発音、漢字などの学習を順調に開始しました。一年間の合宿生活は大変なようですが、日本で医療の仕事をしたという真剣な気持ちで取り組んでいます。

二月六日からはテト(旧正月)休みがあり、久しぶりに実家に帰ってリフレッシュし、また日本語の勉強をがんばろうという気持ちになったようです。



発音特別授業実施

二月二十二日には、早稲田大学名誉教授、EPA顧問の川口先生がベトナムハノイ校へ、特別講義に来てくださいました。ベトナム人の苦手な「つ」や「や・ゆ・よ」の発音の矯正や、文レベルの自然な発音も教えてくださいました。

サイレントウェイという特別な方法で指導してくださいましたが、2組のファム・ティ・フエさんは、「ふ」の音がとても上手で、クラスメイトにモデル発音を聞かせることができました。フエさんとても誇らしい表情で、先生役になることができました。8組のチャン・ティ・ガーさんは、自分の手のひらを一生懸命つきながら、「つ」「つ」「つ」と何度も繰り返し返して、ようやく「つ」の音がきれいに発音できるようになりました。

川口先生も「一日のトレーニングでもとても上手になりましたね。柔軟な頭をもっているベトナム人候補者だからこそ、少しのアドバイスを聞いて発音できるようになったのです。素直に人の話が聞け、実行できることは素晴らしいことです。」とほめてくださいました。

川口先生は、ベトナムの指導者ホーチミン先生に似ていました。(笑)



3陣4陣との交流会

先日、3陣の先輩が、4陣の教室に来てくれました。先輩は4陣のみんなを励まし、漢字学習の方法や、日本語のことは覚えるための単語帳などを持参し、学習のコツを教えてくださいました。先輩の本当の体験話でしたので、とても参考になったようです。それから、リラックスできるように、ゲームも準備してきてくれました。最後には、「見上げてごらん夜の星を」を歌ってくださいました。きれいな日本語でもとても上手でした。大きな声で歌ったので、5階の大教室が震えました。4陣も負けずに、日本語が上手になって、JPOPを歌えるようになってほしいと思います。(た)

